

## 第2節「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～ 施策232 子育て支援策の推進

### 基本事業23202 母子保健対策の推進 (主担当 地域保健課)

三重県版「健やか親子いきいきプランみえ」に基づいて、「子どものころとからだの健やかな発達」「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」を目指して、親と子の総合的な健康づくりに取り組みます。

#### 1 健やか親子支援事業

##### (1) 未熟児等ハイリスク児訪問指導

平成25年度から養育医療が市町移譲になったことにより、訪問数は大幅に減少しました。地域での支援が必要なため医療機関、児童相談所、各市町母子保健担当者から情報提供のあった児、とその保護者に対して市町と連携して虐待予防の視点も含め育児支援を行いました。

対 象 : 未熟児およびハイリスク児とその保護者  
訪問件数 : 延べ24件 (実件数5件)  
電話相談 : 述べ3件

##### (2) 連絡調整及びケース検討会

参加機関 : 医療機関関係者、市町担当者、児童相談所、訪問看護ステーション等支援に関わる関係者  
内 容 : 子育て困難ケースに対して情報の共有化と支援の検討  
参加回数 : 8回

##### (3) 思春期健康支援

思春期は、身体的・精神的発達の変化が最も大きいため特有な悩みが多く、その対応が将来の健康に大きく影響を与えることから、健康的な性意識や性行動が身につけられるよう支援しました。

###### ① 来所、電話相談

思春期の身体やことに関する相談を随時実施しました。

相談件数 : 延べ3件

###### ② 関係機関との連携

管内で小中学、高校生を対象に性教育を実践している団体が主催の思春期勉強会へ参加し、教育現場での性教育の実態把握に努めました。勉強会を通じて産婦人科医や助産師、養護教諭と管内の思春期保健の課題についても共有しました。

参加回数 : 3回

#### (4) 母子保健体制整備

管内市町母子保健担当者の情報交換やスキルアップを図ることで保健所、市町の役割を明確にし、途切れのない母子保健支援体制を整備しました。

開催日	参加数	内 容
第1回 平成26年 7月31日(木)	17人	母子保健担当者意見交換会 1 市町での母子保健事業について 2 保健所での母子保健事業について 3 子育て支援課の母子保健事業について 4 健やか親子いきいきプランみえについて
第2回 平成27年 2月3日(火)	12人	1 講演 「医療ケアを必要とする子どもの在宅生活の課題」 ～地域連携の必要性について～ 講師 伊勢赤十字病院 訪問看護ステーション看護師長 2 事例検討

## 2 母子保健医療

### (1) 養育医療給付

養育医療の給付事業は平成25年4月1日から市町に委譲されました。  
そのため平成26年度の申請はありませんでした。

### (2) 自立支援（育成医療）給付

育成医療の給付事業は平成25年4月1日から市町に委譲されました。  
そのため平成26年度の申請はありませんでした。

## 3 小児慢性特定疾病医療支援事業

小児慢性特定疾病のうち、下記の13疾病の患者に対して児童等の健全な育成を図るために、医療支援を行いました。

平成27年3月31日

区分	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患群	皮膚疾患	合計
件数	21	23	4	29	63	8	19	8	9	9	7		3		203

#### 4 特定不妊治療費助成事業

指定された医療機関において、特定不妊治療（体外受精か顕微授精）を受けた夫婦を対象に、治療費の一部を助成しました。

平成 27 年 3 月 31 日

申請数	承認	不承認
194	194	0